

# 飯豊連峰保全連絡会 ニュースレター

(このニュースレターは飯豊連峰保全連絡会会員各位とこれまでの会議や作業に参加頂いた皆様にお送りしています)

発行者：飯豊連峰保全連絡会

## ■合同保全作業（梶川尾根上部・丸森尾根上部）の報告について

平成 22 年 10 月 2 日（土）～3 日（日）、飯豊連峰の梶川尾根上部、丸森尾根上部において、今年 6 月 23 日の飯豊連峰保全連絡会第 5 回会合で決定された合同保全作業を行いました。

10 月 2 日、天狗平ロッジに集合し、剣スコップや土嚢袋等の資材の荷上げを行うとともに梶川尾根の作業を行い、夜は門内小屋に宿泊しました。翌日は丸森尾根の作業を行いました。

### <梶川尾根上部の作業>

#### 作業箇所①：標高約 1,620m 付近のガリー侵食部周辺（通称トットバノカッチ付近）

周辺は登山利用等によって道の複線化やガリー侵食による荒廃が進行していたことから、登山道の一部を閉鎖して植生を回復させるとともに新たな道が切り開かれていました。

しかし、ここ数年の登山道利用によって、新道においても侵食が発生していることが確認されたことから、侵食が軽微なうちに新道を一時的に休ませて植生を回復させることを目的として、旧道を復活させるために以下の作業を行いました。

- 旧道の一部において侵食の拡大が確認されたことから、登山道として再使用できるように、侵食部に土砂を堆積させ、雨水の流速を落とす目的で、麻製土嚢袋と現地の転石を用いて土留め工を設置する作業を行いました。
- 同様の作業を、新道と旧道の合流点上部でも行いました。
- 必要箇所に雨水の排水路（水切り工）を設置しました。

#### 作業箇所②：標高約 1,720m 付近のガリー侵食部周辺（フキアゲ沢源頭）

当該箇所は平成 21 年度の合同保全作業地及びその周辺であり、以下の作業を行いました。

- 昨年土留め工を設置した効果としてガリー侵食部に土砂の堆積が確認できましたが、一部土留め工の側面から土砂の流出が確認された為、修復必要箇所の手直しを行いました。
- ガリー侵食部に土留め工を追加設置し、また昨年の作業箇所の上で大きく洗掘されている箇所が確認されたため、同位置にも新たに土留め工を設置しました。



土嚢袋による土留工の設置（梶川尾根・フキアゲ沢源頭）



緑化ネットを敷設（梶川尾根・大規模裸地部）

### 作業箇所③：標高約 1,780m の大規模裸地部

当該箇所は平成 21 年度の合同保全作業地であり、ガリー侵食部に土留め工を設置したことによる土砂の堆積が確認できました。また、その下部にある緑化ネット敷設箇所においては、上部からの土砂流入が止まったことにより芽吹きが確認されました。

- 昨年の緑化ネット敷設箇所の下部にて、登山道と植生部の際の 2 箇所に、麻製緑化ネット 1.5 巻（1 巻 1.2m×30m）を敷設する作業を行いました。ネット敷設後は風で飛ばされないようにピンでネットを固定し、微地形効果の創出とおもしを兼ねて、転石を置きました。

### <丸森尾根上部の作業>

丸森峰上部の標高約 1,550m～1,350m 付近の、雨水と踏圧によるガリー侵食等によって現在も荒廃が進行している箇所で作業を行いました。

- 最上部にある昨年土留め工を設置した箇所で、修復必要箇所の手直しを行いました。
- 中・下部においては、あらかじめ許可を得た登山道上の支障木を伐採し、その枝葉を資材として活用してガリー侵食部に木組や土嚢による土留め工を設置する作業を行いました。
- 効果的な土留め工の手法を検証するため、土嚢袋と木組の組み合わせ、木組のみ、木組を縦や横等向き変えて設置するなど、試験的に様々な工法の土留め工を設置しました。
- 必要箇所に雨水の排水路（水切り工）を設置しました。



支障木を伐採して資材として利用します（丸森尾根）



木組による土留め工を設置（丸森尾根）

今回の作業では幸いにして 2 日間ともに天候に恵まれ、各自が役割分担をして作業を行い、計画していた作業をスムーズに完了することができました。

昨年度に引き続き、NPO 法人飯豊朝日を愛する会からは作業全体の段取りや飲食料の提供等、子細に渡ってご尽力頂きました。また、下越山岳会からは土嚢袋、胎内市からは門内小屋の使用についてと飲食物の提供を頂きました。当日は日帰りのみの参加者や、飛び入りで参加して下さった方、また事前に緑化ネット等の資材の荷上げにご協力頂いた方もいらっしゃいました。

当日参加頂いた皆様や事前準備等の目に見えない部分でご協力頂いた皆様の始め、今回の作業に関わって頂いた飯豊連峰を愛する多くの登山者や山岳関係者、地域関係者の皆様に、あらためて厚く御礼申し上げます。《当日は、16 団体、57 人の参加がありました》

【発行者】飯豊連峰保全連絡会

(事務局) 羽黒自然保護官事務所 (坂本、佐々木)

〒997-0141

山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL : 0235-62-4777

FAX : 0235-62-4537

E-mail : RO-HAGURO@env. go. jp

※本ニュースレターは以下の URL のトピックスからも閲覧できます。

<http://tohoku.env.go.jp/>